

# 証券化を活用した基金募集について

平成12年6月21日

日本生命保険相互会社

野村証券株式会社

大和証券S Bキャピタル・マーケット株式会社

日本生命保険相互会社（社長：宇野郁夫）は、新たに募集する1,800億円の基金を、野村證券株式会社（社長：氏家純一）、および大和証券S Bキャピタル・マーケット株式会社（社長：清田瞭）と共同して、国内相互会社で初めて、特定目的会社（SPC）を通じた証券化スキームを活用して募集致します。

## 1 日本生命保険相互会社の基金追加募集について

日本生命保険相互会社は、金融の規制緩和・自由化の進展など、保険事業を取り巻く環境の急激な変化に着実に対応できる「財産的基礎の充実」に継続的に取り組んでおります。

具体的には、めまぐるしく変化する金融環境に対応するための新規投資ならびに超低金利環境の長期化に対応するため、オンバランス自己資本2兆円の確保を目標としており、既に平成11年度末時点で1兆6600億円に達しております。

今回、オンバランス自己資本2兆円の目標を早期に達成するため、新たに1,800億円の基金を追加募集することと致しました。この結果、基金総額は、6,000億円（基金償却積立金を含む）となります。

なお、今回募集する基金につきましては、既に募集済みの基金と合わせ、計画的に償却を図って参ります。

### <ご参考：基金>

基金とは、相互会社における財産的基礎となる資金であり、株式会社の資本金にあたるものです。相互会社では、株主による資本金の拠出が予定されていないため、基金という形式で拠出者から債務を取り入れ、契約で定められた期日に、基金拠出者に返済致します。返済にあたっては、基金と同額の基金償却積立金を積み立てることが義務付けられています。

日本生命保険相互会社は、野村證券株式会社、および大和証券SBキャピタル・マーケット株式会社と共同して、日本生命保険相互会社が新たに募集する1,800億円の基金を裏付け資産とする債券を、特定目的会社（SPC）を通じて発行致します。

項目		内容
目的		①債券による募集、および三社のネットワーク活用による基金拠出先の実質的拡大とそれを通じた調達方式の多様化・調達力の向上 ②市場価格を前提とすることによる、より有利な基金調達条件の追求
スキームの概要		①野村證券株式会社および株式会社大和証券グループ本社（原基金拠出者）が日本生命保険相互会社に基金を拠出 ②原基金拠出者が保有する基金債権を特定目的会社（SPC）に譲渡 ③特定目的会社（SPC）が基金債権を裏付け資産とする債券を発行し、投資家から資金を調達
発行債券	種類	裏付け資産とする基金債権を反映した社債とし、基金の償還期間にあわせ、2年債、3年債、4年債、5年債の4種類を発行
	発行金額	1,800億円 （2年債 300億円、3年債、4年債、5年債 各500億円）
	利率	市場実勢金利（固定金利、年1回後払い）
募集先		証券取引法第2条に規定する定義に関する省令第4条に定める適格機関投資家（プロ私募）
関係者		原基金拠出者：野村證券株式会社、株式会社大和証券グループ本社 取扱証券会社：野村證券株式会社、大和証券SBキャピタル・マーケット株式会社 （野村證券：3年債・5年債を引受 （大和証券SBキャピタル・マーケット：2年債・4年債を引受） 社債管理会社：東洋信託銀行株式会社 格付機関：スタンダード&プアーズ

本件につきましては、日本生命保険相互会社における総代会決議・監督官庁の認可等、所定の手続きが終了次第、実施することとしております。